

## 外科で膵癌に対し術前化学・放射線治療後に切除手術を受けた患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによっ  
て行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」(平成26  
年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。な  
お、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの  
人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありました  
ら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 膵癌術前化学・放射線治療による腫瘍縮小パターンに関する研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院 胆膵外科 診療教授 里井壯平

《研究の目的》膵癌において術前化学・放射線治療の有効性が認識されています。切除標本において術前治療の効果判定  
に腫瘍の面積によるグレーディングであるEvans分類が広く用いられていますが、予後と必ずしも一致しないことが知られ  
ています。乳癌において術前治療による腫瘍の縮小パターンの分類が提唱されていますが、膵癌において術前治療による  
腫瘍の縮小パターンと予後との相関については検討されていません。本研究では、膵癌術前治療症例の切除標本を用い、  
腫瘍縮小パターンと予後との相関について明らかにします。

《研究の方法》

● 研究期間

研究機関の長の承認日～2026年12月31日

● 対象となる患者さん

2006年1月7日から2023年11月30日までの間に関西医科大学附属病院において膵癌に対し術前化学・放射線治  
療後に切除術が施行された患者さん。

● 研究に用いる試料・情報の種類

情報：臨床所見(年齢、性別、体重、診断名、検査結果、臨床病期、治療内容)、画像所見、病理所見

試料：既存の膵癌切除標本

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体  
に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《個人情報について》

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。  
また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。患者  
さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。研究に使用する情報は10年間臨床病理学講座にて厳  
重に保管させていただきます。

《利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているも  
のです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。  
また、研究が実施又は継続されることに同意しないこと又は同意を撤回することによって 研究対象者等が不  
利益な取扱いを受けることはありません。この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメン  
トに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》〒573-1191 大阪府枚方市新町2-3-1 関西医科大学附属病院 胆膵外科 診療教授 里井壯平

電話 072-804-0101 FAX 072-804-2578